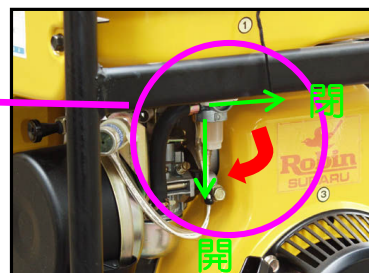


発電機の操作方法

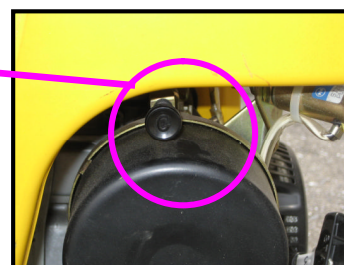
①燃料コックを開けます



②寒い場合など、エンジンが掛かり難い場合はチョークを引きます



チョーク



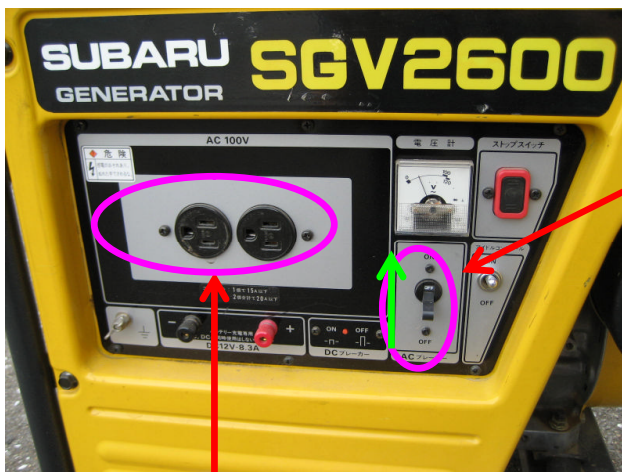
③アイドルコントロールスイッチを「OFF」にします



- ④スターターを引きます ※背後に人が居ないか確認!
(抵抗があるところまで(遊びの部分)一度引き、その後から一気にひっぱるのがコツ)



- ⑤作動させたら、チョークをもどします(押す)
⑥アイドルコントロールスイッチを「ON」にします
⑦AC ブレーカーを「ON」にします



ACブレーカー
(上—ON 下—OFF)

コンセントはここに差し込みます

- ⑧止めるときは、ストップボタンを押します



ストップボタン

使用後は!

そのまま放置すると、目詰まり等の原因になります。

使い終わったら、燃料コックを閉じたままエンジンを作動させます。しばらくすると、パイプ内に溜まった燃料がなくなり、自然と止まります。

発電機(スバル製) ※ ホンダ製が備蓄してある拠点もある

〔燃 料〕 ガソリン

〔備蓄台数〕 2台(情報拠点・医療救護所は3台)

〔容 量〕 12リットル ※ホンダ製品は8リットル

〔稼動時間〕 約8時間(満タン時) ※ホンダ製は約6時間

- ガソリンは初期始動用として、4リットル備蓄してあります。災害時は、協定先の近隣のスタンドへ燃料携行缶を持って取りに行きます。
- 発電機が必要な備蓄物資として、バーナー・無線機・投光器・学校防災井戸を作動する場合も必要になります。
- 稼動時には、排気ガスが出るので、必ず屋外で使います。

ホンダ製の発電機(色は赤)

